

平成24年第9回中津川市教育委員会定例会議事録（要旨）

日 時 平成24年8月27日（月） 午後1時30分

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 田島 雅子 小幡 隆徳 横井 晃

松田 幸博 大井 文高

事務職員 山内事務局長 原文化スポーツ部長
岩久教育次長兼学校教育課長 今井教育企画課長
内木子育て支援対策監兼幼児教育課長 田島発達相談室長
鈴木発達支援センターつくしんぼ所長
松岡東美濃ふれあいセンター所長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

番 号	議 題	結 果
議第24号	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について	承 認

〔開 会〕

〔議 事〕

【田島委員長】議事に入ります。日程第1議第25号「中津川市議会定例会に提出する議案の意見について」、説明をお願いします。

【今井教育企画課長】議第25号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」は、1中津川市幼稚園の設置等に関する条例の一部改正について、2平成24年度中津川市補正予算についてです。1番につきましては幼児教育課長から、2番につきましては、それぞれの担当から歳出から説明させていただきます。〔資料に基づき説明〕

【田島委員長】ご意見ご質問はありませんか。

それでは、私から質問します。学校建設費のところですが、先ほど武道場を建設するという話の前に、仕切られた空間が必要であるというアドバイスをいただいたとのことですが、このアドバイスをする機関はどんなところでしょうか。

【今井教育企画課長】この機関はワークショップの中でということで、ワークショップをするにあたり地元で組織を立てていただきました。加子母中学校屋内運動場建設検討委員会という形で、約20名のそれぞれの代表の方が入っていただいた中で検討いただきました。防災という絡みで消防の方とかPTAも入り地元の区長やいろんな団体の代表、まちづくり協議会の中の教育文化部会、そういった方々が入っております。

【田島委員長】その他いかがでしょうか。

【小幡委員】教育振興費の中で小学校、中学校の目の02番にあたるところです。図書の購入で小学校の方は西小学校で充足率100%になるということだったのか、中学校はあと4校残っているということで、その学校はどこか教えてください。

【岩久教育次長】小学校につきましては、今回の西小学校への補正による図書購入によって、全ての学校で図書の充足率が100%を満たします。中学校につきましては、残念ながら残り4校です。残るのが第二中学校、冊数で言いますと、およそ1300弱です。苗木中学校およそ870程度、落合中学校650程度、付知中学850校程度です。

【田島委員長】よろしいですか。

【小幡委員】はい。

【田島委員長】私から質問します。今の図書の関係の話ですが、充足率が100%になりました。私はそこからスタートだと思っております、半分くらいの図書館を見せていただきました。非常に新しいものとか、きれいに整備されているものもたくさんあるのですが、100%の中に一部大変汚いものもあるようで、これでは読みたいという意識からは遠くなってしまいそうな感じがしまして、100%という数字のマジックにならないようお願いをしたい。100%になってから、どんなふうに取り組んでいけますか。

【岩久教育次長】100%に充足するということは、もっともベジックで基本となることです。委員長のご指摘のとおりこの中には大変古い冊子、蔵書もありますので、徐々に更新していかなければならないと思っています。過去の充足率で言いますと、200%を超えているところとか180%程度のところとか、充足率をかなり満たしているところもありますので、こういったところの蔵書内容も精査しながら随時入れ替えをし、質を高めていくことに取り組

んでいこうと思っております。

【田島委員長】書架もきれいになりそうで、多分、高い書架を低くして取り出しやすい書架を予定しているのではないのでしょうか。こうして本や図書館に対する気分が高まってきたということを楽しんでいます。他にありませんか。

【松田委員】充足率の基準を教えてください。何をもって100%というのですか。

【岩久教育次長】充足率につきましては、学校規模に準じて決まります。中学校、小学校それぞれ基準となる一番下の数があり、そこから上乘せしていく部分は学級数かける何冊という一定の定数がありますので、それで計算をしています。今、手元にその定数がありません。後ほどお知らせさせていただきます。

【松田委員】ということは、人数の少ない学校については、多い学校と比べると圧倒的に冊数が少ないということでも100%ということになるわけですか。そうすると平等の観点からいっても、図書を充実するという観点からいっても、若干違うのではないかと。100%というのは最低ラインなのかということをおもいます。ますます充実していくことを願いたいと思います。

【田島委員長】加子母の小学校はとても広くていい環境の図書館です。その子どもたちが本を読んで楽しんで、加子母の中学に上がります。加子母中学というのは狭くて本当に満足できないのではないだろうか、あの小学校にいて加子母中学に行ったら、きっと満足できないのではないだろうかという雰囲気図書館ですが、本の好きな子どもにとりましては、反対に加子母の小学校でたくさん読んだ子は中学校に行ってもすごく嬉しかったそうです。自分の読んだことのない本がいっぱいあって、環境ではなく本の種類にびっくりしてすごく嬉しいという感想を聞きました。場所ではなく本の種類がたくさんあって、自分の要望を満たしてくれるものがたくさんあるところに行けて嬉しいと、そんな風にみんな感じてくれるといいと思いました。

【岩久教育次長】先ほどのご質問の件ですが、一人当たりの冊数というのは今後見ていかなければならないと思っています。現在の様子を見ていますと、学校図書館の蔵書の標準というのは小規模の学校に非常に配慮されていまして、例えば中津川市の小学校でいいますと、もっとも一人当たりの冊数が多いのは田瀬小学校です。一人当たり170冊を越える冊数になっています。次に神坂、川上となっていて、学校規模が小さいと一人当たりの冊数が少ないという事ではありません。逆に児童数、生徒数が多い学校については、今ご紹介した数が少なくなりますので、こういったところも補充の配慮をしていかなければならないと思っています。満たすだけではなくて一人当たりがどうかということも今後注視して、予算の使い方を考えていかなければならないと思っています。

【横井委員】学校の図書の充足の話が出ていますが、今の青山市政は中央図書館、新図書館を造らない代わりに話がたくさん出ていました。各公民館の図書室を充実、また学校の図書の充実というのが新図書館の建設の変わりにという話が聞こえてきますので、今がチャンスです。教育委員会の事務局の方々、今がチャンスと捉えていただいて大胆な予算請求をしていただいで充実を図っていただきたいと思っておりますのでお願いします。

【松田委員】①のところの西さくら保育園（仮称）は、どの辺りにできるのでしょうか。

【内木幼児教育課長】建設場所につきましては、市内茄子川の深沢地区、中津マツダの土地と

聞いております。

【田島委員長】他にご意見ご質問はありませんか。

ないようなので、議第25号「中津川市議会（定例会）に提出する議案について」は、1、2ともに承認とさせていただきます。

これをもちまして、平成24年第9回中津川市教育委員会を閉会とさせていただきます。

〔閉 会〕